活躍! Be Active!

学習センターの講座開催にご協力いただいている地域の方や団体を紹介します。

治療したおもちゃの数は4800個～歴史の深さを物語る

トイドックやまと（代表：武者彰氏）

▶「大丈夫！ちょっと入院して治療したら直るからね。」優しいドクターの声掛けに安心したのか、男の子の顔に満面の笑顔がこぼれる。毎月第3日曜日に開院する「桜丘おもちゃ病院」。病院を運営しているのは、ボランティア団体の「トイドック やまと（代表：武者彰氏）」。修理を担当する会員をドクターと呼び、修理するおもちゃは患者、引き取って修理することを入院とし、きめ細やかな治療を施された患者は無事元気になって退院を迎える。患者に対するドクターの見立てには定評があり、毎月多くの患者がドクターの診察に訪れる。

音が鳴らない原因を
瞬時に突き止め治療していく

—トイドックやまと代表の武者彰さんに、おもちゃ病院を始めたきっかけを伺いました。

当時、中央林間にあった林間学習センター（平成30年7月31日閉館）で開催された「おもちゃドクター養成講座」を受講し、そこで知り合った仲間でおもちゃ修理の団体「トイドックやまと」を立ち上げました。現在は、ドクターそれぞれが得意分野を発揮し、チームワークで玩具を修理しています。

— 大変歴史のある団体ですが、おもちゃ病院の運営で変わったことはありますか？

もともとは目の前で持ち主の方に治療を見てもらって、物を大切にする心、環境に配慮する心を養って欲しいという目的がありました。しかし新型コロナなどの流行もあって、それまでのスタイルで運営していくのが難しくなり、子どもたちの喜んでいる顔が見れなくなってしまって…。時代とはいえ寂しいですね。

武者氏はおもちゃの治療から、
カルテの整理までをこなす

— 今後の活動について、どのようにお考えですか？

年々ドクターの人数が減っている現状があります。これからも、より地域に密着した活動ができるようにするためにも、人材の確保や育成が大事だと思っています。

＼ドクター大募集！／

経験や知識は問いません！一緒に活動しませんか？
受付を担当してくださる方も大募集です！
問合せ：トイドックやまと（046-267-4748　代表：武者彰）

— おもちゃ病院に来られた方にお話をうかがいました。

息子が2歳の時に祖母から買ってもらったコロちゃん（犬のぬいぐるみ）の治療をお願いしました。ミルクをあげてお腹いっぱいになると顔と尻尾を振って鳴くはずが、全く動かなくなってしまって…。当時息子は、抱っこしてミルクをあげるのが恥ずかしかったのか、物陰に隠れながらコロちゃんにミルクをあげていました。そんな息子も結婚しこの度、待望の孫が生まれます。壊れてずいぶんと日がたってしまっていたので元気になるか心配だったのですが、治療が終わり元気になったコロちゃんの姿を見て、思わず歓声をあげてしまいました。

おもちゃ病院での治療はまさしく「プライスレス」（お金では買えない）な事です。だからこそ患者それぞれが持つこれまでの物語も大事にして治療してくださる姿に大変感銘を受けました。

電気じかけのおもちゃには、
半田ごてを使って治療にあたる

元気に尻尾を振って鳴く姿に
思わず感嘆の声が上がる

治療が無事終了し
元気になったコロちゃん

時に子どもは大人が思ってもいないような遊び方をします。でもそれはその子が一番楽しい！と思っている遊び方。もしそれで壊れてしまっても、桜丘おもちゃ病院に連れて来てください。

＼CHECK／

桜丘おもちゃ病院
毎月第3日曜日（11月は休院）13:30-15:00
会場：大和市桜丘学習センター202講習室
対象：大和市内在住・在勤・在学の方
定員：先着15名 *おもちゃは1家族2つまで
費用：無料 *電池・部品代を頂く場合あり

桜丘学習センターの正面入口からまっすぐ、この看板を目印に

学習センターだより No.23

まなびの風

4-6月号 2025

大和市内5つの学習センターの講座・イベント情報や施設の活動をお知らせする広報紙です

MANABI NEWS

JAXA科学者講演会×上の宇宙クインテットコンサートシリーズ in 大和 vol.1

『PLAY SPACE × PLAY MUSIC』

津田雄一［はやぶさ2プロジェクトマネージャー］×**熊谷真紀**［ヴァイオリン］

申込フォーム

▶宇宙と音楽が織りなす特別なひとときが始まります。JAXA（宇宙航空研究開発機構）の科学者と一流の音楽家がコラボレーション。「宇宙を遊ぶ（PLAY SPACE）」と「音楽を奏でる（PLAY MUSIC）」をテーマに、好奇心を刺激する講演とコンサートが融合したイベントが開催されます。

第1部では、JAXAの津田雄一氏（はやぶさ2プロジェクトマネージャー）を迎え、「はやぶさ2」の挑戦と宇宙探査の最前線についてお話しいただきます。「はやぶさ2」は、小惑星リュウグウへの探査を成功させ、数々の世界初のミッションを成し遂げました。津田さんが、「理想のプロジェクトチーム」と評するチームづくりについても語っていただきます。

第2部では上の宇宙（うわのそら）クインテットのヴァイオリニスト、熊谷真紀さんによるコンサートをお届けします。今回の選曲には、それぞれにイベントテーマとのつながりが隠されています。演奏を聴きながら、そのメッセージを感じ取ってみてください。

©宇宙航空研究開発機構（JAXA）

＼CHECK／

『PLAY SPACE × PLAY MUSIC』
4/19［土］13:00-15:30
会場：渋谷学習センター 2階多目的ホール
定員：先着150名　**費用：**1,000円
申込：窓口・HP・電話（046-267-2027）

写真左から、津田雄一［JAXA・はやぶさ2プロジェクトマネージャー］、熊谷真紀［ヴァイオリン］、石原朋子［ピアノ］

出演者からのメッセージ

宇宙ミッションの話題を通して、科学的思考から広がる世界の面白さをたくさんの方と共有したいと常々考えています。科学的思考にも直感が大切だったりするので、芸術とも相通じるところがあるかもしれません。宇宙探査で人類が得た叡智や技術、そして宇宙活動を通じより良い世界を創ることに一生懸命取り組む人たちの姿を、子供たちや、子供の心を持った大人たちへお伝えできればと思います。── 津田雄一

音楽と宇宙の共通する所は『豊かさ』にあると思います。津田さんの知的さとユーモア溢れるトークと、ヴァイオリンとピアノの奏でる音楽で、お客様に“ちょっと贅沢な良い休日”をお届けできましたら嬉しいです。── 熊谷真紀

上の宇宙クインテット

2024年1月にSLIM月面着陸と同時に、宇宙に魅かれた演奏家達によって結成された弦楽五重奏団。メンバーは青木高志［ヴァイオリン・国立音楽大学教授］、熊谷真紀［ヴァイオリン・The Orchestra Japan］、生野正樹［ヴィオラ・石田組メンバー］、田中里奈［チェロ・エール管弦楽団］、石川浩之［コントラバス・読売交響楽団］。*今回は熊谷真紀のみの出演となります

生涯学習センター 〒242-0016 大和市大和南1-8-1大和市文化創造拠点シリウス6階 ◎小田急江ノ島線・相鉄本線 大和駅から徒歩3分 ◎開館時間 9:00-21:30 ◎休館日12/29～1/3
つきみ野学習センター 〒242-0002 大和市つきみ野5-3-5 ◎東急田園都市線 つきみ野駅から徒歩5分、中央林間駅から徒歩18分 ◎開館時間 9:00-21:30 ◎受付時間 8:30-20:00 ◎休館日 6/9、12/29～1/3
市民交流拠点ポラリス 〒242-0007 大和市中央林間1-3-1 ◎小田急江ノ島線・東急田園都市線 中央林間駅から徒歩3分 ◎利用時間 Room・アリーナ・市民交流スペース 9:00-21:30／プレイルーム・親子交流サロン・親子交流テラス 9:00-18:00 ◎休館日 12/29～1/3
桜丘学習センター 〒242-0024 大和市福田1-30-1 ◎小田急江ノ島線 桜ヶ丘駅から徒歩3分 ◎開館時間 9:00-21:30 ◎受付時間 8:30-20:00 ◎休館日4/21、12/29～1/3
渋谷学習センター 〒242-0023 大和市渋谷5-22 IKOZA3階 ◎小田急江ノ島線 高座渋谷駅から徒歩2分 ◎開館時間 9:00-21:30 ◎受付時間 8:30-20:00 ◎休館日12/29～1/3、毎月最終月曜日（休日の場合には前週の月曜日）
編集発行：指定管理者やまとみらい
〒242-0016 神奈川県大和市大和南1-8-1 https://www.yamato-future.jp/
発行日：2025年4月1日　*次号は2025年7月1日発行予定です

PICK UP

［講座／生涯学習センター］

ことばの技術と表現の工夫
――自己紹介を兼ねて

中央学院大学商学部教授　水藤新子

▶「日本語の教員」では留学生対象、「国語の先生」じゃ小中高みたい、かといって「表現研究者」を名乗っても伝わらず……どうしたらいいんでしょうね。というわけで、常日頃関心を抱いているあれこれについて書き並べ、自己紹介といたします。

「口のきき方を知らない」とか、「ことば遣いがなっていない」という非難の仕方があります。対話において他者への配慮に欠けるとの意味合いですが、人は相手の意図する表現内容を理解した上で、それとは別の意味をも受け取っていることを物語っています。

たとえば商店の休業告知は、「休みます」ではなく「休ませて頂きます」と書かれるのが一般化しています。店主＝書き手の配慮であり、へりくだった方が顧客＝読み手に与える印象のよいこと――ひいては店の評判が低下しないことを見越しての表現でしょう。ただ貼紙による告知は、情報伝達を第一の目的とするごく実用的なものですから書き方はある程度決まっていますが、対象を拡げると表現の幅はぐっと拡がってきます。

「秋は短し旅せよ岩手」、JR東日本の広告コピーです。「岩手の秋は短いけれど美しい風景も美味しいものもたくさんある、どうぞ来てください」との意向を読み取りつつ、ピンと来た方も少なくないでしょう。「命短し恋せよ乙女」じゃないか、と。「秋の岩手に来てね」や「岩手の秋は素敵ですよ」でもキャンペーン意図は伝わりますが、有名なあの歌い出しを利用することで情報の収まりや語呂がよくなり、結果的に印象も強まります。

文学作品になると自由度はさらに上がります。女性の美を「大輪の花が咲くようなまなざし」に見出す作家がいる一方で「蛭の輪のような唇」を称賛する作家もいます。前者は常識的ですが後者は余りに異様です。また、ある事象について描く際に一般的に予想される方向とは全く逆の見方から描く手法もあります。嘘をつくのではなく、真実とは離れた方向――作家の狙った誤解へと読者を導くもので、推理小説ではおなじみの技法です。

話して聞いて読んで書いて、私たちの日常はことばなしには成り立ちません。どうせなら誤解されたり非難されたりすることなく伝え合い楽しみ合いたいと思いつつも、その技術を学ぶのは難しそう……と感じるなら、こんな例はどうでしょう。「服を着る」、厳密には上半身を広く覆う場合「着る」を選びます。帽子は「かぶる」、眼鏡は「かける」、マフラーは「巻く」、手袋・アクセサリーは「つける／はめる」、下半身を広く覆うもの及び靴下・靴は「履く」……「纏う」や「羽織る」もあるし、実際はかなり細分化されたものを使い分けているのです。このようによく似た、しかし少しずつ違いがある意味用法を持つ語のまとまりを類義語と呼びます。正しく使い分けてもほめられませんが、「帽子を履く」と言った瞬間ダメ出しをされます。無意識にできているこんなことも立派な言語能力であり表現技術のひとつだと気づけば、ハードルはぐっと下がるのではないでしょうか。

書くのも話すのももちろん内容ありきですが、内容を正しく受け取ってもらうにはふさわしい書き方／話し方が求められます。今回の講座ではそうした表現の技術＝レトリックについて、実例を挙げつつ紹介したいと考えています。

＼CHECK／

「SNS時代の『文章表現力講座』」

全3回　4/19、5/17、6/14［土］14:00-16:00

対象：大和市内在住・在勤・在学の方優先
定員：先着20名
費用：1,500円（3回分）
申込：窓口・HP・電話（046-261-0491）

申込フォーム

RECOMMENDED ☞おすすめ絵本

『角野栄子のアコちゃん絵本　ぽかぽかぐ～ん』

作：角野栄子　絵：よしむらめぐ　出版：小学館

昨年11月に開催した「おすすめ絵本のPOPをつくろう！ワークショップ」の作品を、順にご紹介しています。

▶晴れた日に大きくのびをすると　なんて気持ちが良いんだろう
ページをめくって　いっしょにのびをすれば
とても楽しくなれる絵本です！　さあ！うでを広げて　ぐ～ん

掲載されている講座は、期間中に開催されるものの一部です。各講座の詳細は、各館窓口までお問い合わせください。
申込不要の講座は、当日直接会場へお越しください。

YAMATO MIRAI COLLEGE

UPCOMING

［やまとみらいカレッジ／つきみ野学習センター］

西洋に憧れる日本、日本を慕う西洋

ジャポニスムとは西洋芸術が日本に触れて変革していく現象をいいます。本講座では江戸時代の錦絵誕生から20世紀初頭の日本芸者世界巡演まで、ヨーロッパと日本の人々が様々な接触を通して独自のアートを模索していった事象を掘り起こします。

▶「キーパーソンから見るジャポニスム～西洋に影響を与えた日本」

全5回　5/11、5/18、5/25、6/1、6/8［日］14:00-15:30

第1回『平賀源内と錦絵』
第2回『シーボルトと歌麿』
第3回『ゴンクールと北斎』
第4回『ヨーロッパを巡演する貞奴』
第5回『アドルフ・フィッシャーの日本美術収集とウィーンのジャポニスム』

申込フォーム

会場：つきみ野学習センター201・202会議室
〈サテライト受講〉シリウス6階生涯学習センター603中会議室他
対象：どなたでも *市内在住・在勤・在学の方優先
定員：先着30名
〈サテライト受講〉先着12名
講師：美術史家　隠岐由紀子
費用：2,000円（5回分）*学生1,000円 学生証提示
申込：4/7［月］10時～ 窓口・HP・電話（046-275-0088）、
市外の方 4/14［月］10時～

［やまとみらいカレッジ／生涯学習センター］

次の旅が待ち遠しくなる、学びがあります

近年ニュースで取り上げられることも多いオーバーツーリズム、世界遺産、宿泊税などについて、講師が業務で関わってきた観光地の実際の事例を交えながら解説。観光地が直面する課題とその対策を学び、今後の観光のあり方を考えます。

▶「観光の未来を考える～持続可能なあり方のヒント～」

全5回　5/17、6/7、6/14、6/21、6/28［土］14:00-16:00

第1回『オーバーツーリズムと観光（鎌倉と京都）』
第2回『エコツーリズムと観光（小笠原と知床）』
第3回『世界遺産と観光（富士山）』
第4回『税金と観光（宿泊税）』
第5回『これからの観光（世界の観光地と沖縄）』

講座詳細

会場：生涯学習センター601講習室
対象：市内在住・在勤・在学の方優先　**定員：**先着50名
講師：公益財団法人日本交通公社 観光研究部上席主任研究員 中島泰
費用：2,000円（5回分）*学生1,000円 学生証提示
申込：4/5［土］10時～ 窓口・HP・電話（046-261-0491）、
市外の方 4/12［土］10時～
〈オンライン視聴ができます〉
対象：どなたでも　**受講方法：**PCなどからZoomで参加
*費用・申込開始日は上記と同様　**申込：**イベント管理サイト「Peatix」からお申込みください

オンライン視聴申込

YOUは何しにセンターへ？ VOL.3

学習センターの様々な使い方を、実際に来館されていらっしゃる方にインタビューしながら紹介します。

＼つきみ野学習センター／

つきみ野学習センターにいらっしゃった親子にお声がけしてみました。

小林百合子さんと伶さん（2歳5か月）です。約5年前からこのつきみ野学習センターをよく利用されているそうです。

この日はであいのへや（保育室）で開催されている「ほっと☆のびのび」に参加するために来館。小林さんは3人のお子さんの子育て中。伶さんは3人目。一番上のお子さん、2番目のお子さんの時も「ほっと☆のびのび」に来ていたベテランママさんです。

――毎週楽しく通う理由は何ですか？

「家で二人きりでいるよりも、ここにきて沢山のお友達やボランティアの皆さんとお話しするのが楽しいです。幼稚園・保育園・小学校の行事などについても話せるのでリフレッシュや子育てのためになります。」「（伶さんは）最近ゆっくりしゃべれるようになったので、人と遊ぶのがより楽しくなったようです。」と話す横でボランティアさんが持つドラえもんと楽しそうに遊んでいる伶さん。

――学習センターに期待することはありますか？

「読み聞かせやおいでおいで♪にも参加したことがありますが、もっとイベントが増えたらいいな（笑）」

――

小林さん親子にとって学習センターは大切な場所で、親子が毎週楽しみに来る居場所だということが伝わってきました。